

令和6年10月1日

矢那梅の香園にて厚生労働省・千葉県等主催の「DMAT」参加による大規模災害時医療活動訓練を実施しました。(令和6年9月28日実施)

“一人でも多くの命を助けよう”と厚生労働省により、災害派遣医療チーム、日本DMATが平成17年4月に発足されました。災害の発生直後の急性期(概ね48時間以内)から活動を開始できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チームとして定義されており、この度、当法人(矢那梅の香園)にてDMAT参加による「大規模災害時医療活動訓練」について、令和6年9月28日に矢那梅の香園にて実施させて頂きました。

今回の訓練については、県内2か所の介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)をその訓練対象としたもので、千葉県内においてはこのような訓練は初となる試みと伺いました。当日は矢那梅の香園職員、厚生労働省コーディネーター、DMAT、保健所、君津中央病院の職員参加による訓練で非常に緊張感のある訓練となりました。当法人各施設(矢那梅の香園・いわね潮の香園)の各職員においては、今回のこの経験を基に災害時の被害を最小限に抑えることができるよう改めて認識させられたものであり、「防災時においてもご入居者様皆様が安心して、そして、安全に避難(お過ごし)頂ける施設により一層向かうべきものである」と強く認識した有意義な訓練となりました。

今後は、この経験より得た知識や考え方をベースに当法人各施設(矢那梅の香園・いわね潮の香園)の災害時における行動規範として、更に施設運営にあたっていくところであります。

